



令和9年度（2027年度）末に

めざす状態

（施策目標）

財政規律を維持しながら、社会や住民ニーズの変化に対応できる仕事の進め方・働き方ができている

施策の主な方向性**(1) 持続可能な財政の運営**

社会経済情勢の変化や住民ニーズに柔軟に対応しつつ、持続可能な財政運営を維持します。

(3) 情報公開による開かれた市政の推進

市が保有する情報を適切に管理、公開することにより、公正で開かれた市政の推進を図ります。

(2) ファシリティマネジメント※の推進

公共施設等総合管理計画に基づき、民間企業等と連携し、公共施設の適正配置を進めるとともに、公共施設やインフラ施設の適切な維持管理・長寿命化を図ります。

(4) 行政課題に対応できる組織・職場環境づくり

複雑・多様化する行政課題に対応できる組織・人員体制を構築するとともに、それぞれの職員がミッション達成に向けて能力を発揮できる職場環境づくりに取り組みます。

現状と課題**現状（取組成果）**

- ・ 補助金制度の見直しやファシリティマネジメントの推進等、行財政改革の取組を進めています。
- ・ 後年度の経常経費の増加を意識した事業設計や市債の借入を厳選する等の取組から、財政運営は総じて健全な状態を維持しています。
- ・ 生駒駅前公共施設の機能集約や複合化を中心に、公共施設の適正配置の調整、検討を進めています。
- ・ 市民に対する説明責任を果たせるよう、「生駒市情報公開条例」に基づき、行政文書の管理体制を整備し、情報公開制度を適正に運用しています。
- ・ 社会人採用等の取組を通じて、官民で活躍する専門性の高い人材を積極的に採用し、行政課題の解決に向けて取り組んでいます。
- ・ 人材育成基本方針V・M・V（ビジョン・ミッション・バリュー）※を軸とした人事施策を実施しています。
- ・ 時差出勤、育児休業の拡大やテレワークの推進等、職員が働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。

主な課題

- ・ 市税収入の増加が見込めない中、高齢化に伴う社会保障関係費の歳出増加や、公共施設の更新需要の増加に加え、新たな行政課題にも対応できる財政運営を行っていく必要があります。
- ・ 公共施設の適正配置について、関係者との調整を含め、計画的に進めていくことが必要です。
- ・ V・M・Vのより一層の理解・実践が課題です。
- ・ 職員の成長やモチベーションの維持向上のため、さらなる柔軟な働き方、組織全体の心理的安全性の向上が必要です。

参考資料**■ 関連する主な分野別計画**

中期財政計画、生駒市公共施設等総合管理計画、生駒市公共施設マネジメント推進計画、生駒市個別施設計画、生駒市公共施設保全計画、生駒市定員適正化計画、生駒市特定事業主行動計画、生駒市人材育成基本方針、生駒市障がい者任用指針

※1 ファシリティマネジメント：

※2 V・M・V（ビジョン・ミッション・バリュー）：